



彩の国福祉教育・ボランティア学習推進員ネットワーク

あったかウェルねっとニュース 第18号

2014年10月30日発行

ホームページアドレス <http://www.geocities.jp/attaka17/>

2011.3.11、東日本大震災により失われた多くの尊い命のご冥福を祈り続けるとともに、一日も早く被災地が復興・復旧されますことを願い、被災された皆様の安心安全を心よりお祈り申し上げます。

あいさつ

共に生きる、ふ・く・しの輪

あったかウェルねっと 代表
横田八枝子(第1期推進員)

誰もが助け、助けられる関係性の中で生きています。あったかウェルねっとは、障害の有無に関わらず、互いの違いに気づき合い、命を大切に、そして排除のない社会を願って、県内で活動を続け、早14年になりました。

振り返れば、2000年に県社協の福祉教育・ボランティア学習推進員養成研修を受講してから今日まで、県社協や講師の原田正樹先生佐藤陽先生はじめ多くの方々にご助言を頂き、推進員の皆様と共に学び、ネットワークを広げながら実践に繋げてまいりました。

10年ひと昔と言われますが、社会環境も私たちを取り巻く生活環境も変わってきました。16号でもお伝えしましたが、ねっとの役割も変化の時を迎えております。

前号での新事務局長あいさつのとおり、2013年からは目指すところは同じですが、其々の専門性を生かした新しいねっとの活動が展開しています。しかしながら、福祉課題は、孤立、貧困、虐待、自殺、薬物等々、日々複雑化多様化し、悲しい現実が続きます。

県内には立場や分野を越えた大勢の福祉教育推進員の方々が地域活動に関わっておられます。これからも様々な出会いの中で『共に生きる力』を育み合い、温かく支え合える『ふくしの輪』をみんなで広げ、心豊かな社会の実現を目指していくことを願っています。

何卒、皆様のご理解ご協力をよろしくお願い申し上げます。

報 告

平成26年度 総会が行われました

5月10日(土)、彩の国すこやかプラザ研修室にてあったかウェルねっと総会を行いました。平成25年度事業・決算報告、続いて26年度運営担当・事業目標と事業計画・予算等の議事が承認されました。運営担当・事業内容は昨年を引き継ぐものとなり、継続性を重視しつつ新年度がスタートしました。

今年度もよろしくお願いいたします。



埼玉県社協地域福祉部森田様よりご来賓あいさつ

学 習 会 (推進員フォローアップ)

総会終了後、同会場で講演およびワールドカフェをおこない、地域で幸せに暮らすためには何が必要かを学びました。

講演：「地域福祉と福祉教育」
 ～一人一人に向き合う地域福祉とは？～
 講師：菱沼幹男氏（日本社会事業大学准教授）



地域の助け合いがなぜ大切なのか、生きづらさを感じている様々な人々がいる現実に、誰もが安心して地域で暮らすために必要なのは、サービスの当てはめではなく、生活を丁寧に見ること。そして多様な支援の輪で支えることが大事。けれど地域には包容と排除の力があるのも事実なので、地域の誤解や偏見をなくすためには、学習と交流の重要性があげられる。疑似体験による福祉教育から、人間理解の福祉教育へを自覚しつつ、生きづらさを感じている人々・地域住民・専門職・ボランティアの4者が互いに手を携えることが求められている。福祉のまちづくりは、地域の課題を知ることから始まり、地域の人と人とのつながりを作ること等々、あったかウエルねっとの活動をますます大切に感じる内容でした。

「ふだんのくらしのしあわせ」を感じられるヒントを学び合いました。（参加者 40 名）



3人によるキースピーチ「ちょっとの工夫でふつうに・楽しく・私らしく♪」でスタート！

会場いっぱい参加者は、弱視・全盲・盲導犬ユーザー・聴覚・車いす・発達障害・重複障害・ボランティア・社協職員などさまざま。グループに分かれて3コーナーを巡り、おしゃべりしながら情報交換をしました。

◆吉田より子&盲導犬ラッキーコーナー
 （嵐山町 第5期推進員）
 ～おしゃれにお出かけ・より子スタイルの秘密～

外出前に服選びを楽しんでいます。洋服の色や柄は、裾に縫い付けたビー



ズの形や大きさを把握。セルフ針を使って自分で縫い付けます。ラッキーのマナーコートとペアにすることも♪ 調味料の容器にも目印を付けて分かるようにしています。一人の時は「手で触る」をフル活用、見える人がそばにいれば即！聞き、助けてもらいます。無理せず、頑張りすぎずをモットーに、気持ちをラク～に生活しています。

◆今井光子コーナー（熊谷市 第8期推進員）
 ～暮らしの中の工夫あれこれ・みっちゃん流ユニ



バーサルデザイン～
 シャンプーとコンディショナー、牛乳と牛乳以外のパック、ケチャップとマヨネーズ等の区別ができるかな、と触って分かる



どのグループも沢山の意見が！

後半はワールドカフェ方式のグループワークで、席替えしながら沢山の意見交換をしました。

まなびば しゃべりばカフェ 第4回
2014'夏カフェ

「さまざまな人がそこにいる！」

～見えない・見えにくい、聞こえない・聞こえにくい～

7月27日（日）、坂戸駅前集会施設の集会室にて、2014'夏カフェをおこないました。各市町村の推進員のみならず初参加の方もあり、新しい出会いやつながりも生まれました。

今回は、ねっと運営委員有志（吉田・今井・山本・須田）の企画で、「ふだんの暮らしに『+プラス』で幸せに！」と題して、誰もが

■ **あったかウエルねっと 推進員が講師役で活躍!** ■

ユニバーサルデザインを体験してもらいました。液体量が見えない私には、計量カップで計る、移し替えにはジョーゴが便利、焼き魚をひっくり返すのは難しく魚焼きパックを使う等々、一般商品でも視覚障害者のためのグッズとして便利なものも多く、主婦としては大助かり。なにごとにも工夫次第ですね。

◆ **山本美念子コーナー(草加市第6期推進員)**



～コミュニケーションは生きる力・見て分かる情報のいろいろ～

電話→FAX やメール、テレビの音声→字幕、来客→光で知らせるフラッシュベル、銀行等の受付→振動で知らせる合図くん、音を知らせる聴導犬、等々ご紹介しました。ハード面は整備され、昔と比べるとずいぶん暮らし易くなりました。

でも、相手に聞こえないことを伝えると、ほとんどの人が黙ってしまう。それが本当は一番さみしかったけれど、今日、山本コーナーに来てくださった方はみんな積極的。口を大きくはっきり開けたり、紙に書いたり、身振りを入れたり。ご自身も障害を持っているのに、私とじかに通じようと努力してくださいました。まさしく「コミュニケーションは生きる力」を実感する嬉しい一日でした!

でも、相手に聞こえないことを伝えると、ほとんどの人が黙ってしまう。それが本当は一番さみしかったけれど、今日、山本コーナーに来てくださった方はみんな積極的。口を大きくはっきり開けたり、紙に書いたり、身振りを入れたり。ご自身も障害を持っているのに、私とじかに通じようと努力してくださいました。まさしく「コミュニケーションは生きる力」を実感する嬉しい一日でした!

～参加者の声～

☆昔に習った手話を思い出して、口を大きく開けてしゃべったら山本さんに通じて嬉しかった。人生なんでも無駄なことはないと思った。
 ☆目と耳の重複障害が日本には700人程度。私は耳に補聴器、目は盲導犬なので、音に敏感なシェパードがパートナーです。おかげでより安心。今日のみなさんのお話から自分としての課題も分かり、それも嬉しかった。
 ☆目に見えにくい障害もある。アスペルガー等いろんな人がいる事も知って欲しいです。

地域でいきいき! つながる! ふくし講座
 ～主催: 和光市社協～

須田正子(第3期推進員・坂戸市)
 荒田孝平(第8期推進員・三芳町)

6月28日(土)、和光市の総合福祉会館に行きました。まず、あったかウエルねっとの活動を紹介しながら「ふくしってなあに」の講義。そして、視覚に障害があってもいきいきと活動する荒田さんのお話へ続き、やがて見えなくなることを知り様々な訓練を受け、歩き方を習ったりパソコン操作を習ったり。今ではパソコンやメールを使って情報を手に入れていますし、文字を大きくする拡大ルーペ、音声で読み上げる腕時計やプレックストークなど便利な機器も使いこなして「新しい機器を知る喜びも味わっています」と語る荒田さん。講座修了後に地域での活躍が期待されている受講生は真剣に耳を傾けていました。



拡大ルーペ・指で触る腕時計等、受講生も興味津々!

福祉教育ボランティア養成講座
「福祉教育推進ボランティアの役割と実践」
 ～主催: 富士見市社協～

山本美念子(第6期推進員・草加市)

7月23日(水)、市民福祉活動センター「ぱれっと」会議室で上記講座を担当しました。

前半は、愛称「あったかウエルねっと」に込めた思いや、みんなが平等で一人一人を大切に思う福祉の心を含め、写真をふんだんに使って、これまでの推進員活動を伝えました。

次に、小学校へ行った時の模擬授業を展開し、「学年や人数などに応じた工夫」や、「事前の打ち合わせ内容」「気を付けていること」「民生委員の例会で話をさせて貰っている事」などについても話しました。

加えて今回は、聞こえない人の生活が描かれているDVDも見てもらいました。参加者の中に視覚障害の方も複数いると聞いていたので、このDVDでは手作りの「音声ガイド」をつける工夫をしました。わずか10分のDVDではありますが、障害の有無に関係なく、まさに「誰もが参加できる」上映会となり、共感共有しあえる研修になりました。



聴覚障害や、コミュニケーションで分かり易く。

県社協からの情報

県社協では、誰もが孤立することなく、地域でともに支え合う社会の実現に向けて「共生・共助つながりづくり」を推進しています。

これまでに、小中学生「地域のつながり」作文コンクール、高校生ボランティア交流会を通じた児童・生徒の福祉マインドの醸成や、災害について考える集い、孤立防止フォーラム、サロン実践報告会を実施しました。

また、福祉施設の社会貢献と児童の福祉教育を推進する「福祉の心を育む交流事業」も市町村社協を中心に展開されています。

引き続き、推進員の皆様のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

★イベント情報★

1 共生・共助つながりづくりシンポジウム

【日時】11月10日（月）13:00～16:45

【会場】埼玉会館小ホール（入場無料）

【内容】阿部志郎氏の記念講演、住民や施設等による支え合いの実践報告など

2 福祉の学びを考える集い

【日時】12月1日（月）13:00～16:30

【会場】大宮ソニックシティ 市民ホール401・402

【内容】学校、施設、社協による実践報告等

ねっと事務局より

次回「冬カフェ」のお知らせ

第5回まなびばしゃべりば「冬カフェ」

日時：平成27年2月8日（日）

場所：東松山市社協（参加費100円）

内容：「目に見えにくい障害」（予定）

詳細はHPで！【あったかウエルねっと】で検索！

<http://www.geocities.jp/attaka17/>

ねっとの情報をお届けします

メールでも情報を届けています。アドレス（携帯アドレスも可）をお持ちの方はお手数ですが、下記の事務局までお知らせください。

ねっと事務局 須田 049-283-1865 (FAX)

メールアドレス：masako-s@tcat.ne.jp

会費振込先のお知らせ

活動は、ねっと会費（年1000円）で運営しています。みなさまのご協力をお願いします。

振込先：埼玉りそな銀行武蔵浦和支店・

普通預金口座番号：5015782

名義：彩の国福祉教育ボランティア学習推進員ネットワーク

編集後記

あなたの地域でもまなびばしゃべりばカフェをやってみませんか？事務局が企画のお手伝いをします。お声がけをお待ちしています。

発行：彩の国福祉教育・ボランティア学習推進員ネットワーク
（愛称：あったかウエルねっと）

編集：あったかウエルねっと（情報担当）

連絡先：埼玉県社会福祉協議会 地域活動支援課

（TEL：048-822-1435 FAX：048-822-1449）

担当：金子（VC@fukushi-saitama.or.jp）